

# 東京都と帝京大学教職大学院との連携にかかわる審査結果について

## 大学の教職大学院設置目的

- 新しい学校づくりの有力な一員となり得る新人教員の養成
- 確かな指導理論と優れた実践力・応用力を備えた「スクールリーダー(中核的中堅教員)」の養成

## 東京都の教職大学院活用目的

- これからの学校づくりの有力な一員となり得る優秀な新人教員の養成・確保
- 東京都の教育の中核を担い得る教員や高い専門性と優れた行政感覚をもつ指導主事などを計画的に育成

### 東京都教育ビジョン(第2次)

- 教員採用選考の特例
- 現職教員及びA選考合格者を、1年間教職大学院へ派遣

教職大学院制度の実効性を確保のために、教職大学院で共通に履修する内容・方法を都教育委員会で検討

都が共通科目及び学校における実習の一部の内容を指定

★帝京大学から連携の申入れ  
※都(県)と連携することが教職大学院開設認可のためにも必要

都が求めている内容を満たしているか審査を実施

**<今後の予定>**  
10月末…文部科学省が帝京大学教職大学院の設置認可  
12月…東京都教育委員会と帝京大学との協定締結

## 審査の視点

教職大学院設置の基本的な考え方が東京都の求めるものと合致しているか

教職大学院で履修する内容に東京都の求めるカリキュラムが位置付いているか

学生の定員に応じた指導体制が確保されているか

## 東京都が求める内容

実践と理論の融合を図り、高度な専門性と実践的指導力を備えた新人教員の養成及び現職教員の育成

都教育委員会は、教職大学院における共通科目20単位のうちおおむね3割程度の内容を指定  
教職大学院は、その内容をカリキュラム・シラバスに位置付け指導

都教育委員会は、連携協力校での学校における実習の内容の一部を指定  
教職大学院は、その内容を実習カリキュラムに位置付け指導

学生の定員及び指導体制の確保(教員数・実務家教員の配置など)

## 帝京大学教職大学院設置概要

### 教職大学院設置の基本的な考え方

実践と理論の融合を図り、高度な専門性と実践的指導力を備えた教職実践者の育成を、基本方針に示している。

- 小学校教員の育成に特化
- 医学部を有する特色を生かした教育と医療との連携

### 共通カリキュラム(ストレートマスター・現職教員及びA選考合格者)

共通科目の内容に、都教育委員会の求めている共通カリキュラムの内容が、遺漏なく位置付いている。

- すべての科目に、ストレートマスター・現職教員・管理職候補者の到達目標を設定
- ストレートマスター・現職教員・管理職候補者のかかわりを重視した授業内容の工夫

- 共通カリキュラム**
- ①教育課程の編成・実施
  - ②各教科等の実践的な指導方法
  - ③生徒指導、教育相談
  - ④学級経営、学校経営
  - ⑤学校教育と教員の在り方

### 学校における実習カリキュラム(ストレートマスター)

学校における実習の内容に、都教育委員会の求めているカリキュラムの内容が、遺漏なく位置付いている。

- 段階的、計画的に学校における実習ができるように工夫
- 指導教員の学校訪問による指導を重視した実習指導の充実

- 実習カリキュラム**
- ①教育課程に関する実習
  - ②教科等の指導に関する実習
  - ③生活指導、教育相談等に関する実習
  - ④学級経営、学校経営に関する実習
  - ⑤学校教育と教員の在り方に関する実習

### 規模や入学者選抜など

【定員規模】 定員…30名  
ストレートマスター…20名  
現職教員…10名  
【教員数】 専任教員数 15名  
うち実務家教員 7名

**平成21年度から東京都は帝京大学との連携を開始する**

<参考> 昨年協定締結した4大学の定員数・教員数

創価大	玉川大	学芸大	早稲田大
定員25名	定員20名	定員30名	定員70名
在籍者数 30名	在籍者数 17名	在籍者数 39名	在籍者数 57名
都派遣者数 30名 ・現職教員2名 ・管理職候補者4名	都派遣者数 17名 ・現職教員1名 ・管理職候補者5名	都派遣者数 39名 ・現職教員7名 ・管理職候補者6名	都派遣者数 57名 ・現職教員8名
専任教員 12名 うち実務家教員 5名	専任教員 12名 うち実務家教員 6名	専任教員 22名 うち実務家教員 10名	専任教員 13名 うち実務家教員 7名